

部品番号：WEB2073,WEB2074

名称：LOCTITE 242

安全データシート  
Safety Data Sheet (SDS)

商品の販売元：

住友建機販売株式会社

住所： 〒141-6025

東京都品川区大崎二丁目1番1号(ThinkPark Tower)

担当部門：カスタマーサポート部 部品グループ

電話： 050-9001-6447

FAX： 03-6866-5112



## 安全データシート

Page 1 of 16

LOCTITE 242 MEDIUM STRENGTH THREADLOCKER known as 242  
Threadlocker 250ML EN/CH/JP

SDS No. : 150233  
V001.7

ヘンケルジャパン株式会社

改訂: 04. 04. 2023  
発行日: 08. 08. 2023

### 1. 化学物質等及び会社情報

製品コード : 235195  
製品名 : LOCTITE 242 MEDIUM STRENGTH THREADLOCKER known as 242 Threadlocker 250ML  
EN/CH/JP

会社名 :  
ヘンケルジャパン株式会社  
東京都品川区東品川2-2-8  
スフィアタワー天王洲 14F  
140-0002  
電話番号 : +81 (45) 758-1800

### 2. 危険有害性の要約

GHS分類 :

<u>危険有害性クラス</u>	<u>危険有害性区分</u>	<u>標的臓器</u>
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激 激性	区分 2	
特定標的臓器毒性 - 単回暴 露	区分 3	気道刺激性
水生環境有害性 短期 (急性)	区分 3	

GHSラベル要素:

絵表示:



注意喚起語:

警告

ヘンケルジャパン株式会社

<b>危険有害性情報:</b>	H319 強い眼刺激。 H335 呼吸器への刺激のおそれ。 H402 水生生物に有害。
<b>安全対策</b>	P261 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。 P264 取扱い後はよく手を洗うこと。 P271 屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。 P273 環境への放出を避けること。 P280 眼保護具/顔面保護具を着用すること。
<b>応急措置:</b>	P304+P340+P312 吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が変わるときは医師に連絡すること。 P305+P351+P338 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 P337+P313 眼の刺激が続く場合: 医師の診断/手当てを受けること。
<b>保管:</b>	P403+P233 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。 P405 施錠して保管すること。
<b>廃棄:</b>	P501 廃棄するときは、適用法令、及び製品特性に従い、適切な処理・廃棄施設に内容物/容器を廃棄すること。

製品ラベルの有害性情報は、個別の安全データシートの記載内容と異なる場合があります。

### 3. 組成、成分情報

単一製品・混合物: 混合物

#### 危険有害成分及び濃度

成分	wt%
ポリエチレングリコールジメタクリラート	>= 60 - < 70 %
二酸化ケイ素 (アモルファス)	>= 1 - < 10 %
キュメンヒドロパーオキシド (1-メチル-1-フェニルエチルヒドロパーオキシド)	1.4 %
酸化チタン	>= 0.1 - < 1 %
1,4-ナフトキノ	>= 0.025 - < 0.1 %
クメン	>= 0.1 - < 1 %

### 4. 応急処置

<b>皮膚にかかった場合:</b>	水と石けんで洗うこと。 症状がみられる場合は、医師の診察を受ける。
<b>眼に入った場合:</b>	大量の水で最低5分間洗眼すること。刺激を感じたら、医師の診察を受けること。

ヘンケルジャパン株式会社

**飲み込んだ場合：** 口をすすぐこと。水を1-2杯飲ませること。無理に吐かせないこと。症状がみられる場合は、医師の診察を受ける。

**吸入した場合：** 空気の新鮮な場所へ移動させ、不快感が続く場合医師の診察を受けること。

### 5. 火災時の措置

**適切な消火剤：** 泡、粉末消火剤、二酸化炭素

**火災時の特有の危険有害性：** 炭素酸化物、窒素酸化物、刺激性有機蒸気。

**消火活動を行うものの特別な保護具及び予防措置：** なし

### 6. 漏出時の措置

**人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置：** 十分な換気を保つこと。

**封じ込め及び浄化の方法及び機材：** 少量の場合紙タオル等で拭き取り、廃棄用容器にて保管すること。  
大量の漏洩に対しては、不活性な材質のものに吸収させ廃棄するまで、密閉できる容器に保管する。

### 7. 取扱い及び保管上の注意

**取扱い  
安全取扱い注意事項** 眼、皮膚、衣服に付着しないようにすること。蒸気やミストを吸入しないこと。使用後はよく洗うこと。

**保管：  
安全な保管条件：** 原容器に入れたまま、8-21° Cで保管する。異物混入のおそれがあるため使用した液は元の容器へ戻さないこと。

### 8. 暴露防止及び保護措置

管理濃度

日本産業衛生学会

成分【規制物質】	ppm	mg/m <sup>3</sup>	値型	短期暴露限界カテゴリー/備考	Regulatory list

ヘンケルジャパン株式会社

二酸化ケイ素（アモルファス） [土石,岩石,鉱物,金属又は炭素の粉じん]		0.025	管理濃度:	ばく露限界値は 100%遊離シリカの値を用いて方程式 $3.0/(1.19 * (\%遊離シリカ) + 1)$ により算出されている。遊離シリカのパーセンテージが低いほどばく露限界値は高くなる。	JPISHL OEL
二酸化ケイ素（アモルファス） [結晶質シリカ含有率 3%未満の鉱物性粉塵,吸入性粉塵]		1	時間加重平均(TWA):		JPISOH OEL
二酸化ケイ素（アモルファス） [結晶質シリカ含有率 3%未満の鉱物性粉塵,総粉塵]		4	時間加重平均(TWA):		JPISOH OEL

**管理濃度**

参考

成分【規制物質】	ppm	mg/m <sup>3</sup>	値型	短期暴露限界カテゴリー/備考	Regulatory list
二酸化ケイ素（アモルファス）		3	時間加重平均（TWA）：		ACGIH
二酸化ケイ素（アモルファス）		10	時間加重平均（TWA）：		ACGIH

保護具：

- 呼吸用保護具：** 換気の良い場所でのみ使用すること。
- 手の保護具：** 適切な保護手袋  
長期的、繰り返しての皮膚接触の可能性がある場合は ポリ塩化ビニル又はニトリルゴム 長手袋 もしくは同等品の溶剤耐久性手袋の使用を推奨する。
- 眼の保護具：** 保護眼鏡を着用すること。
- 皮膚及び身体の保護具：** 適切な保護服を着用すること。

**9. 物理的及び化学的性質**

物理的状态：	液体	色：	青
pH：	該当なし、混合物は非極性/非プロトン性です。	臭い：	マイルド、アクリル
沸点：	> 150 ° C (> 302 ° F)	融点：	該当なし、製品は液体
蒸気密度：	> 1	密度：	1.1 g/cm <sup>3</sup>
引火点：	> 100 ° C (> 212 ° F)	蒸気圧：	データ無し/対象外
爆発範囲（下限）：		爆発範囲（上限）：	

ヘンケルジャパン株式会社

	2.6 % (V) (プロピレングリコール)		12.5 % (V) (プロピレングリコール)
水への溶解度	データ無し/対象外	粘度 :	> 20.5 mm <sup>2</sup> /s
自然発火点:	データ無し/対象外	可燃性:	データ無し/対象外
オクタノール/水分配係 数	データ無し/対象外	分解温度:	データ無し/対象外
粒子特性	データ無し/対象外		

## 10. 安定性及び反応性

**安定性 :**

**反応性 :** 強酸化剤  
強還元剤

**避けるべき条件** 通常の使用、保管条件では安定。

**危険有害な分解生成物 :** 炭素酸化物  
硫黄酸化物  
窒素酸化物  
刺激性の有機蒸気。

**危険な重合反応 :** 起こらない。

## 11. 有害性情報

ヘンケルジャパン株式会社

### 11.1. 毒物学的影響情報

#### 急性毒性（経口）：

混合物は、混合物に存在する分類された物質を基に分類する計算方法に基づいて分類されている。

有害物質	値型	値	種	試験方法
ポリエチレングリコールジメタクリラート	LD50	> 5,000 mg/kg	ラット	指定されていません
二酸化ケイ素（アモルファス）	LD50	> 5,000 mg/kg	ラット	OECD Guideline 401 (Acute Oral Toxicity)
キュメンヒドロパーオキシド（1-メチル-1-フェニルエチルヒドロパーオキシド）	LD Lo	5,000 mg/kg	マウス	
キュメンヒドロパーオキシド（1-メチル-1-フェニルエチルヒドロパーオキシド）	LD50	382 mg/kg	ラット	other guideline:
酸化チタン	LD50	> 5,000 mg/kg	ラット	OECD Guideline 425 (Acute Oral Toxicity: Up-and-Down Procedure)
1,4-ナフトキノン	LD 50	190 mg/kg	ラット	
1,4-ナフトキノン	LD50	124 mg/kg	ラット	equivalent or similar to OECD Guideline 401 (Acute Oral Toxicity)
クメン	LD 50	2.91 g/kg	ラット	
クメン	LD 50	1,400 mg/kg	ラット	
クメン	LD50	2,260 mg/kg	ラット	指定されていません

#### 急性毒性（経皮）：

混合物は、混合物に存在する分類された物質を基に分類する計算方法に基づいて分類されている。

有害物質	値型	値	種	試験方法
ポリエチレングリコールジメタクリラート	Acute toxicity estimate (ATE)	> 5,000 mg/kg		専門家の判断
二酸化ケイ素（アモルファス）	LD50	> 2,000 mg/kg	ウサギ	OECD Guideline 402 (Acute Dermal Toxicity)
キュメンヒドロパーオキシド（1-メチル-1-フェニルエチルヒドロパーオキシド）	Acute toxicity estimate (ATE)	1,100 mg/kg		専門家の判断
酸化チタン	LD50	> 10,000 mg/kg	ウサギ	指定されていません
クメン	LD50	> 10,000 mg/kg	ウサギ	指定されていません

ヘンケルジャパン株式会社

**急性毒性（吸入）：**

混合物は、混合物に存在する分類された物質を基に分類する計算方法に基づいて分類されている。

有害物質	値型	値	試験環境	ばく露時間	種	試験方法
ポリエチレングリコールジメタクリレート	Acute toxicity estimate (ATE)	> 5 mg/l	粉じん及びミスト			専門家の判断
二酸化ケイ素（アモルファス）	LC0	0.139 mg/l		4 h	ラット	指定されていません
キュメンヒドロパーオキシド（1-メチル-1-フェニルエチルヒドロパーオキシド）	LC50	1.370 mg/l	蒸気	4 h	ラット	指定されていません
キュメンヒドロパーオキシド（1-メチル-1-フェニルエチルヒドロパーオキシド）	LC50	1.245 mg/l	蒸気	4 h	ラット	評価計算
酸化チタン	LC 50	> 6.82 mg/l	吸入	4 h	ラット	
酸化チタン	LC50	> 6.82 mg/l	粉塵	4 h	ラット	指定されていません
酸化チタン	LC 50	> 2.28 mg/l	吸入	4 h	ラット	
酸化チタン	LC 50	> 3.56 mg/l	吸入	4 h	ラット	
1,4-ナフトキノン	LC50	0.046 mg/l	粉じん及びミスト	4 h	ラット	OECD Guideline 403 (Acute Inhalation Toxicity)
クメン	Acute toxicity estimate (ATE)	21 mg/l	蒸気	4 h		専門家の判断
クメン	LC 50	10 mg/l	蒸気	7 h	マウス	
クメン	LC 0	4510 ppm	吸入	1 h	ラット	
クメン	LC50	< 39 mg/l	蒸気	4 h	ラット	指定されていません
クメン	LC50	> 17.6 mg/l	蒸気	6 h	ラット	指定されていません
クメン	LC 50	2000 ppm	蒸気	7 h	マウス	
クメン	LC 67	8000 ppm	蒸気	4 h	ラット	
クメン	LC 0	22.1 mg/l	吸入	1 h	ラット	
クメン	LC 0	17.6 mg/l	蒸気	6 h	ラット	
クメン	LC 0	3592 ppm	蒸気	6 h	ラット	
クメン	LC 50	25 mg/l		2 h	マウス	
クメン	LC 50	10 mg/l		7 h	マウス	
クメン	LOAEL (最小毒性レベル)	2000 - 8000 ppm		20 min	マウス	
クメン	LC 67	39 mg/l	蒸気	4 h	ラット	

**皮膚腐食性／刺激性：**

混合物は、混合物に存在する分類された物質を基に分類する計算方法に基づいて分類されている。

有害物質	結果	ばく露時間	種	試験方法
二酸化ケイ素（アモルファス）	刺激性なし	4 h	ウサギ	OECD Guideline 404 (Acute Dermal Irritation / Corrosion)
キュメンヒドロパーオキシド（1-メチル-1-フェニルエチルヒドロパーオキシド）	corrosive		ウサギ	Draize test
酸化チタン	刺激性なし	4 h	ウサギ	OECD Guideline 404 (Acute Dermal Irritation / Corrosion)

ヘンケルジャパン株式会社

1,4-ナフトキノン	Category 1C (corrosive)		ウサギ	OECD Guideline 404 (Acute Dermal Irritation / Corrosion)
クメン	刺激性なし		ウサギ	OECD Guideline 404 (Acute Dermal Irritation / Corrosion)

**眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性：**

混合物は、混合物に存在する分類された物質を基に分類する計算方法に基づいて分類されている。

有害物質	結果	ばく露時間	種	試験方法
二酸化ケイ素（アモルファス）	刺激性なし		ウサギ	OECD Guideline 405 (Acute Eye Irritation / Corrosion)
酸化チタン	刺激性なし		ウサギ	OECD Guideline 405 (Acute Eye Irritation / Corrosion)
クメン	刺激性なし		ウサギ	OECD Guideline 405 (Acute Eye Irritation / Corrosion)

**呼吸器又は皮膚感作性：**

混合物は、混合物に存在する分類された物質の閾値を基に分類されている。

有害物質	結果	テストタイプ	種	試験方法
ポリエチレングリコールジメタクリレート	not sensitising			OECD Guideline 406 (Skin Sensitisation)
酸化チタン	not sensitising	Mouse local lymphnode assay (LLNA)	マウス	equivalent or similar to OECD Guideline 429 (Skin Sensitisation: Local Lymph Node Assay)
酸化チタン	not sensitising	Buehler test	モルモット	OECD Guideline 406 (Skin Sensitisation)
1,4-ナフトキノン	sensitising	指定されていません	モルモット	指定されていません
クメン	not sensitising	Guinea pig maximisation test	モルモット	OECD Guideline 406 (Skin Sensitisation)

ヘンケルジャパン株式会社

**生殖細胞変異原性:**

混合物は、混合物に存在する分類された物質の閾値を基に分類されている。

有害物質	結果	試験項目／管理経路	代謝活性化／ばく露時間	種	試験方法
二酸化ケイ素（アモルファス）	陰性	bacterial reverse mutation assay (e.g Ames test)			指定されていません
二酸化ケイ素（アモルファス）	陰性	in vitro mammalian chromosome aberration test			指定されていません
二酸化ケイ素（アモルファス）	陰性	DNA damage and repair assay, UDS in mammalian cells in vitro			指定されていません
キュメンヒドロパーオキシド（1-メチル-1-フェニルエチルヒドロパーオキシド）	陽性	bacterial reverse mutation assay (e.g Ames test)	without		OECD Guideline 471 (Bacterial Reverse Mutation Assay)
酸化チタン	陰性	bacterial reverse mutation assay (e.g Ames test)	有無		OECD Guideline 471 (Bacterial Reverse Mutation Assay)
酸化チタン	陰性	in vitro mammalian chromosome aberration test	有無		OECD Guideline 473 (In vitro Mammalian Chromosome Aberration Test)
酸化チタン	陰性	mammalian cell gene mutation assay	有無		OECD Guideline 476 (In vitro Mammalian Cell Gene Mutation Test)
酸化チタン	陰性	in vitro mammalian cell micronucleus test	without		equivalent or similar to OECD Guideline 487 (In vitro Mammalian Cell Micronucleus Test)
クメン	陰性	bacterial reverse mutation assay (e.g Ames test)	有無		OECD Guideline 471 (Bacterial Reverse Mutation Assay)
クメン	陰性	in vitro mammalian chromosome aberration test	有無		OECD Guideline 473 (In vitro Mammalian Chromosome Aberration Test)
クメン	陰性	mammalian cell gene mutation assay	有無		OECD Guideline 476 (In vitro Mammalian Cell Gene Mutation Test)
クメン	陰性	DNA damage and repair assay, UDS in mammalian cells in vitro	without		OECD Guideline 482 (Genetic Toxicology: DNA Damage and Repair, Unscheduled DNA Synthesis in Mammalian Cells In Vitro)
キュメンヒドロパーオキシド（1-メチル-1-フェニルエチルヒドロパーオキシド）	陰性	dermal		マウス	指定されていません
酸化チタン	陰性	oral: gavage		ラット	OECD Guideline 474 (Mammalian Erythrocyte Micronucleus Test)
クメン	陰性	inhalation: gas		マウス	OECD Guideline 474 (Mammalian Erythrocyte

ヘンケルジャパン株式会社

						Micronucleus Test)
--	--	--	--	--	--	--------------------

**発がん性**

混合物は、混合物に存在する分類された物質の閾値を基に分類されている。

成分	結果	ばく露経路	ばく露時間 / 処置頻度	種	性別	試験方法
酸化チタン	not carcinogenic	oral: feed	103 w daily	ラット	male/female	指定されていません

**生殖毒性**

混合物は、混合物に存在する分類された物質の閾値を基に分類されている。

有害物質	結果 / 値	テストタイプ	ばく露経路	種	試験方法
酸化チタン	NOAEL P >= 1,000 mg/kg NOAEL F1 >= 1,000 mg/kg	one-generation study	oral: feed	ラット	OECD Guideline 443 (Extended One-Generation Reproductive Toxicity Study)

**特定標的臓器毒性 (単回ばく露) :**

データなし

**特定標的臓器毒性 (反復ばく露) :**

混合物は、混合物に存在する分類された物質の閾値を基に分類されている。

有害物質	結果 / 値	ばく露経路	ばく露時間 / 処理頻度	種	試験方法
キュメンヒドロパーオキサイド (1-メチル-1-フェニルエチルヒドロパーオキシド)		inhalation : aerosol	6 h/d 5 d/w	ラット	指定されていません
酸化チタン	NOAEL > 1,000 mg/kg	oral: gavage	92 d daily	ラット	OECD Guideline 408 (Repeated Dose 90-Day Oral Toxicity in Rodents)
クメン	NOAEL > 535.8 mg/kg	oral: feed	28 d daily	ラット	指定されていません
クメン	NOAEL 125 ppm	inhalation : vapour	14 w 6 h/d, 5 d/w	ラット	OECD Guideline 413 (Subchronic Inhalation Toxicity: 90-Day)

**誤えん有害性 :**

データなし

ヘンケルジャパン株式会社

12. 環境影響情報

12.1. 生態毒性

毒性（魚）：

混合物は、混合物に存在する分類された物質を基に分類する計算方法に基づいて分類されている。

有害物質	値型	値	ばく露時間	種	試験方法
ポリエチレングリコールジメタクリラート	LC50	> 100 mg/l	96 h	Danio rerio	OECD Guideline 203 (Fish, Acute Toxicity Test)
二酸化ケイ素（アモルファス）	LC50	> 10,000 mg/l	96 h	Brachydanio rerio (new name: Danio rerio)	OECD Guideline 203 (Fish, Acute Toxicity Test)
キュメンヒドロパーオキシド（1-メチル-1-フェニルエチルヒドロパーオキシド）	LC50	3.9 mg/l	96 h	Oncorhynchus mykiss	OECD Guideline 203 (Fish, Acute Toxicity Test)
酸化チタン	LC50	Toxicity > Water solubility	48 h	Leuciscus idus	OECD Guideline 203 (Fish, Acute Toxicity Test)
1,4-ナフトキノン	LC50	0.045 mg/l	96 h	Oryzias latipes	OECD Guideline 203 (Fish, Acute Toxicity Test)
クメン	LC50	4.8 mg/l	96 h	Oncorhynchus mykiss	OECD Guideline 203 (Fish, Acute Toxicity Test)

毒性（ミジンコ）：

混合物は、混合物に存在する分類された物質を基に分類する計算方法に基づいて分類されている。

有害物質	値型	値	ばく露時間	種	試験方法
キュメンヒドロパーオキシド（1-メチル-1-フェニルエチルヒドロパーオキシド）	EC50	18.84 mg/l	48 h	Daphnia magna	OECD Guideline 202 (Daphnia sp. Acute Immobilisation Test)
酸化チタン	EC50	Toxicity > Water solubility	48 h	Daphnia magna	OECD Guideline 202 (Daphnia sp. Acute Immobilisation Test)
1,4-ナフトキノン	EC50	0.026 mg/l	48 h	Daphnia magna	OECD Guideline 202 (Daphnia sp. Acute Immobilisation Test)
クメン	EC50	2.14 mg/l	48 h	Daphnia magna	OECD Guideline 202 (Daphnia sp. Acute Immobilisation Test)

水生無脊椎動物に対する慢性毒性：

混合物は、混合物に存在する分類された物質を基に分類する計算方法に基づいて分類されている。

有害物質	値型	値	ばく露時間	種	試験方法
ポリエチレングリコールジメタクリラート	EC10	30.2 mg/l	21 d	Daphnia magna	OECD 211 (Daphnia magna, Reproduction Test)
酸化チタン	NOEC	Toxicity > Water solubility	21 d	Daphnia magna	OECD Guideline 202 (Daphnia sp. Chronic Immobilisation Test)
クメン	NOEC	0.35 mg/l	21 day	Daphnia magna	OECD 211 (Daphnia magna, Reproduction)

ヘンケルジャパン株式会社

---

					(Test)
--	--	--	--	--	--------

毒性（藻類）：

ヘンケルジャパン株式会社

混合物は、混合物に存在する分類された物質を基に分類する計算方法に基づいて分類されている。

有害物質	値型	値	ばく露時間	種	試験方法
ポリエチレングリコールジメタクリラート	EC50	> 100 mg/l	72 h	Pseudokirchneriella subcapitata	OECD Guideline 201 (Alga, Growth Inhibition Test)
ポリエチレングリコールジメタクリラート	EC10	61 mg/l	72 h	Pseudokirchneriella subcapitata	OECD Guideline 201 (Alga, Growth Inhibition Test)
キュメンヒドロパーオキシド (1-メチル-1-フェニルエチルヒドロパーオキシド)	EC50	3.1 mg/l	72 h	Desmodesmus subspicatus (reported as Scenedesmus subspicatus)	OECD Guideline 201 (Alga, Growth Inhibition Test)
キュメンヒドロパーオキシド (1-メチル-1-フェニルエチルヒドロパーオキシド)	NOEC	1 mg/l	72 h	Desmodesmus subspicatus (reported as Scenedesmus subspicatus)	OECD Guideline 201 (Alga, Growth Inhibition Test)
酸化チタン	EC50	Toxicity > Water solubility	72 h	Pseudokirchneriella subcapitata	OECD Guideline 201 (Alga, Growth Inhibition Test)
酸化チタン	NOEC	Toxicity > Water solubility	72 h	Pseudokirchneriella subcapitata	OECD Guideline 201 (Alga, Growth Inhibition Test)
1,4-ナフトキノン	NOEC	0.07 mg/l	72 h	Pseudokirchneriella subcapitata	OECD Guideline 201 (Alga, Growth Inhibition Test)
1,4-ナフトキノン	EC50	0.42 mg/l	72 h	Pseudokirchneriella subcapitata	OECD Guideline 201 (Alga, Growth Inhibition Test)
クメン	EC50	2.01 mg/l	72 h	Desmodesmus subspicatus	OECD Guideline 201 (Alga, Growth Inhibition Test)
クメン	EC10	1.35 mg/l	72 h	Desmodesmus subspicatus	OECD Guideline 201 (Alga, Growth Inhibition Test)

微生物に対する毒性:

混合物は、混合物に存在する分類された物質を基に分類する計算方法に基づいて分類されている。

有害物質	値型	値	ばく露時間	種	試験方法
ポリエチレングリコールジメタクリラート	EC50	130 mg/l		指定されていません	other guideline:
キュメンヒドロパーオキシド (1-メチル-1-フェニルエチルヒドロパーオキシド)	EC10	70 mg/l	30 min	指定されていません	指定されていません
酸化チタン	EC0	Toxicity > Water solubility	24 h	Pseudomonas fluorescens	DIN 38412, part 8 (Pseudomonas Zellvermehrungshemm-Test)
1,4-ナフトキノン	EC50	5.94 mg/l	3 h	activated sludge of a predominantly domestic sewage	OECD Guideline 209 (Activated Sludge, Respiration Inhibition Test)
クメン	EC10	211 mg/l	24 h		DIN 38412, part 8 (Pseudomonas Zellvermehrungshemm-Test)

12.2. 残留性と分解性

ヘンケルジャパン株式会社

有害物質	結果	テストタイプ	分解性	ばく露時間	試験方法
ポリエチレングリコールジメタクリラート	readily biodegradable	aerobic	85 %	28 d	OECD Guideline 301 B (Ready Biodegradability: CO2 Evolution Test)
キュメンヒドロパーオキシド (1-メチル-1-フェニルエチルヒドロパーオキシド)	容易に生分解されません。	aerobic	3 %	28 d	OECD Guideline 301 B (Ready Biodegradability: CO2 Evolution Test)
1,4-ナフトキノン	容易に生分解されません。	aerobic	0 %	28 d	OECD Guideline 301 F (Ready Biodegradability: Manometric Respirometry Test)
クメン	readily biodegradable	aerobic	86 %	28 d	ISO 10708 (BODIS-Test)

### 12.3. 生態蓄積性

有害物質	生物濃縮係数	ばく露時間	温度	種	試験方法
キュメンヒドロパーオキシド (1-メチル-1-フェニルエチルヒドロパーオキシド)	9.1			計算	OECD Guideline 305 (Bioconcentration: Flow-through Fish Test)
クメン				Carassius auratus	
クメン	35.5			Carassius auratus	OECD Guideline 305 (Bioconcentration: Flow-through Fish Test)

### 12.4. 土壌中の移動性

有害物質	LogPow	温度	試験方法
ポリエチレングリコールジメタクリラート	-2.07		QSAR (Quantitative Structure Activity Relationship)
キュメンヒドロパーオキシド (1-メチル-1-フェニルエチルヒドロパーオキシド)	1.6	25 ° C	OECD Guideline 117 (Partition Coefficient (n-octanol / water), HPLC Method)
1,4-ナフトキノン	1.71		指定されていません
クメン	3.55	23 ° C	OECD Guideline 107 (Partition Coefficient (n-octanol / water), Shake Flask Method)

### 12.5. PBTおよびvPvB評価の結果

この混合物には、PBTまたはvPvBと評価される物質は含まれていません。

### 12.6. 他の有害影響

データなし

## 13. 廃棄上の注意

**推奨廃棄方法:** 国及び地方自治体の規則に従って廃棄すること。

**汚染容器包装の廃棄方法:** 国及び地方自治体の規則に従って廃棄すること。

ヘンケルジャパン株式会社

#### 14. 輸送上の注意

Marine transport IMDG:  
危険物には該当しない。

Air transport IATA:  
危険物には該当しない。

**国内輸送規制:**

陸上輸送：消防法、労働安全衛生法、毒劇物法等に該当する場合は定められている運送方法に従う。

海上輸送：船舶安全法に定められている運送方法に従う。

航空輸送：航空法に定められている運送方法に従う。

#### 15. 適用法令

**労働安全衛生法：**

名称等を通知すべき有害物

酸化チタン

クメン

変異原性が認められた既存化学物質

キュメンヒドロパーオキシド（1-メチル-1-フェニルエチルヒドロ  
パーオキシド）

**消防法**

第4類引火性液体, 第4類 第3石油類(非水溶性)

**毒物及び劇物取締法：**

該当しない

**化学物質排出把握管理促進法 (PRTR 法)：**

(含有率表示は代表値)

(含有率単位が%0の場合 %0=1/10%)

第二種指定化学物質

キュメンヒドロパーオキシド（1-メチル-1-フェニル  
エチルヒドロパーオキシド）

管理番号：440

#### 16. その他の情報

発行日:

08.08.2023

ヘンケルジャパン株式会社

---

**注意:**

この安全性データシートは日本産業規格（JIS: Z 7253）に基づいて作成しており、日本の法律にのみ則った情報を提供しております。他の管轄地域又は国の実体法または輸出法に関しては、いかなる種類の表明又は保証も行いません。ここに提供している情報が他の管轄地域の実質的な輸出又はその他の法令に準拠していることを輸出前に確認して下さい。ご不明な点がございましたらHenkel Product Safety and Regulatory Affairsにお問い合わせ下さい。

この情報は現況での化学的根拠と発送された製品の状況を元に作成したものである。またこれは安全を説明するための情報で、製品の特性を保証するものではない。

ここに表明したデータは信頼性があると考えられるが単に情報として挙げただけである。Henkel社のコントロールが及ばない人々が得た結果については責任を持たない。Henkel製品の適切性、特定目的で使用する際の製造方法、Henkel社製品の取扱いや使用に関わる危険性から人や資産を守るための予防処置などの見極めはユーザーの責任の元行われるべきである。以上の説明の元、Henkel社は、明示・暗示に関わらず、特定用途に対する市場性・適切性を含み、製品の販売・使用に関わるすべての保障への責任を拒否する。更にHenkel社は、損益を含むいかなる2次的・偶発的損害についての責任も拒否する。